



2022年5月20日

各位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹



太陽生命、2021年度版「健康スコアリングレポート」で 3年連続 TOP100位以内にランクイン!!

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社(社長 副島直樹)、太陽生命健康保険組合(理事長 関吉淳也)は、日本健康会議^{(*)1}、厚生労働省、経済産業省が実施する2021年度版(2020年度実績分)「健康スコアリングレポート」^{(*)2}の予防・健康づくりに関する取組み状況において、3年連続 TOP100位以内にランクインしましたので、お知らせいたします。

健康スコアリングレポート結果

96位 / 1,126組合

- 特定健康診査^{(*)3}実施率が好調!
(目標値 90%に対して 94.1%)
- 特定保健指導^{(*)4}実施率が好調!
(目標値 55%に対して 65.8%)

※健康スコアリングレポートの順位は「特定健康診査」「特定保健指導」の実施率により決定されます。

健康保険組合とのコラボヘルスによる予防・健康づくりに関する取組み ～従業員の健康に向けて～

■「MCI (軽度認知障害) スクリーニング検査プラス」の実施

認知症の前段階である「MCI(軽度認知障害)」の兆候がわかります

- 55歳以上の従業員を対象に、2年毎に無料で受診



(サービス提供: 株式会社 MCBI)

■「アミノインデックス®リスクスクリーニング検査」の実施

「現在、がんである可能性」と「将来、脳卒中・心筋梗塞、糖尿病になるリスク」を一度に評価できます

- 30歳から55歳の従業員を対象に、5年毎に無料で受診



(技術開発: 味の素株式会社)

■ 疾病予防・健康増進に効果のある

「クアオルト健康ウォーキング」日帰り体験バスツアーを定期的に実施

- 2021年度は、8回開催し、263名の従業員が参加



【その他】

- 健康保険組合による健康診断の再検査、精密検査の受診勧奨、特定保健指導実施の徹底
- 「からだ」と「こころ」に関する健康相談窓口の利用促進による病気等の未然防止
- 太陽生命健康増進アプリの利用促進 等

今後とも健康産業である生命保険会社として、従業員一人ひとりが元気にいきいきと働ける職場環境の構築に向け、従業員の健康増進施策を推進してまいります。

以上

^{(*)1} 「日本健康会議」とは、少子高齢化が急速に進展する日本において国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、行政のみならず、民間組織が連携し実効的な活動を行うために組織された活動体です。

^{(*)2} 「健康スコアリングレポート」は、2018年度より日本健康会議が保険者のデータヘルスを強化し企業の健康経営との連携(コラボヘルス)を推進するため、厚生労働省・経済産業省と連携し、従業員等の健康状態や医療費、予防・健康づくりへの取組み状況等をスコアリングし、経営者に通知するものです。

^{(*)3} 「特定健康診査」とは、生活習慣病の予防のために、40歳から74歳を対象にメタボリックシンドローム(腹囲等の計測)に着目した健診です。

^{(*)4} 「特定保健指導」とは、特定健康診査結果から生活習慣病発症リスクが高く、生活習慣の改善による予防効果が期待できる者を対象に保健師等が行うサポートです。

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

太陽生命保険株式会社

東京都中央区日本橋2-7-1